



所要時間：1時間

シナリオの公開：OK

シフターの作成：どちらでもOK

推薦する関係性：同じ大学に通っている者同士

異界の発生原因：シフターが異界文字に触ってしまったため

アレンジ用シナリオ、公式版

このシナリオは、『アンサング・デュエット』に掲載されているアレンジ用シナリオを公式がアレンジしてみたものです。

公式がアレンジしたからといって、これが絶対の正しい解釈ということではありません。

あなたがアレンジに挑戦する場合、これは気にせず自分だけのシナリオを作つてみてくださいね。

あらすじ（プレイヤー向け）

このシナリオは、シフター、バインダー共に、同じ大学に通う者同士となって遊びます。

シフターは優秀な学生ですが、最近は何か悩み事があるのか、勉強がはかどっていません。

バインダーは、そんなシフターと仲が良く、一緒に遅くまで勉強したり、遊びに行くこともあります。

ある日、大学の図書館の閉館時間まで残っていたふたりは、いつもとおり地下鉄に乗って帰路につきます。

運よく空いていた座席に横並びに腰かけ、明日の予定を話し合ううちに寝込んでしまいました。

目が覚めると、そこは見知らぬ駅。

自分たちのほかに乗客はおらず、そして、なぜか電車が出発する様子もありません。

「ここから逃げよう！」

突然、シフターが青ざめた顔でバインダーの手を取ります。

その瞬間、バインダーは自分がいる場所の正体を知ります。

赤茶けた光が照らす廃墟のような駅と、徘徊する黒い人型。

ふたりはいつのまにか、異界化した駅に迷い込んでいたのです。